

## 「木枯し紋次郎」日野宿へ

作家の森村誠一は自身が強く影響を受けた作品として、木枯し紋次郎シリーズの第1作「赦免花は散った」をあげています。すでに推理小説作家としての地位を確立していた笹沢左保（1930－2002）は、「木枯し紋次郎」以降、時代小説にも本格的に取り組んでいきました。森村にとって「赦免花は散った」が発表された時の衝撃は強烈で、笹沢左保という作家の間口の広さを思い知らされた、と述べています（『推理作家になりたくて』第4巻）。

木枯し紋次郎シリーズは当初、月刊誌に1年間連載するという予定でスタートしました。笹沢は執筆にあたって、みずからいくつかの制約を課します。それは、

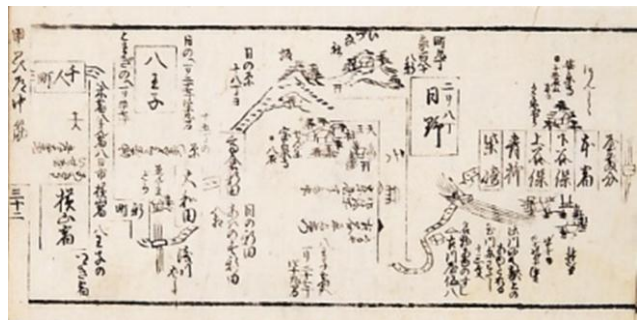
- ① 題名には時代小説的な名詞と動詞または形容詞を組み合わせる
- ② 時代背景をできるだけ専門的に調べる
- ③ 印象的な楊枝の使い方をする
- ④ 意外性をもって終わる
- ⑤ 最後に記録の引用をもってくる

というものでした。また紋次郎は連載の最終回で死ぬことになっていました。

ところがテレビドラマ化された「木枯し紋次郎」は、市川崑監督に抜擢された中村敦夫が紋次郎の役柄にピタリとはまり、上條恒彦がダイナミックに歌う主題歌ともども大ヒット。紋次郎ブームの到来は主人公が早々に死ぬことを許しませんでした。5つの制約は、当初12回程度なら、充分この課題をクリアできるという自信もあって決めたことでしたが、結局12回では終わらなかったため、次第に原稿の締切りが近づくと、笹沢は「地獄の苦しみ」を味わうことになっていったといいます。

「赦免花は散った」は天保6年（1835）、紋次郎は30歳という設定になっています。天保の飢饉で農村は荒廃し、幕府が倒れるまであと30年ほど、という時期にあたります。上州（群馬県）の貧農の子、紋次郎は生まれ落ちるや間引きされる運命にありましたが、姉の機転で命を救われます。そのことをのちに知った紋次郎は口をきかない少年となり、やがて村を飛び出します。人間不信の紋次郎にとって、日野宿の左文治は唯一心を許す幼なじみでしたが、左文治の手痛い裏切りにあったことは紋次郎に深い心の傷を残しました。そして、遠島となった三宅島から島抜けをして、復讐を果たします。

ところで「赦免花は散った」では、日野宿は家数190軒、東を多摩川が流れ、鮎がとれて、名物は鮎鮎、などと紹介されています。



『五街道中細見記』日野宿

「五海道中細見記」は笹沢が執筆にあたって参考にしたと思われる資料のひとつですが、これによれば日野宿は家数 188 軒とされ、多摩川（玉川）については「此川にて献上のあゆとれる、玉川舟わたし十三文、名物あゆのすし、古川屋仙八」とあって、「赦免花は散った」で紹介されている日野宿の記述とほぼ一致します。

紋次郎シリーズ第 92 話「乱れ雪の宿」では、日野の渡船場近くでの仇討ち騒ぎが話の発端となっています。日野宿については、多摩川の鮎や鮎鮎についてふれているほか、家数は 430 戸と記されています。その数値の典拠はわかりませんが、実際に幕末期の史料では天保 14 年に 423 軒、慶応 4（1868）年に 429 軒とされています（『日野市史史料集』地誌編）。「190 軒」は街道沿いの人家の数でしょうか。

他の作品でも、紋次郎は何度か日野を通過し、また八王子や府中など多摩地区の地名も登場しています。

\* \* \*

笹沢左保（本名勝）は詩人笹沢美明<sup>よしあき</sup>の三男として東京に生まれ、横浜で育ちました。祖父は横浜の生糸商人として財をなし、一家はその遺産で生活しましたが、やがて困窮するようになります。しかし美明は詩作とドイツ文学に没頭するばかりで、働いて生活を支えるということにはまったく無関心でした。笹沢は次第に身勝手な父に反発を覚えるようになっていきます。17 歳のころ、父との確執から家を出、自分の力だけで生きていこうと決意します。しかしヤクザとの乱闘や、喧嘩を売られての決闘、既婚の女性との心中未遂、瀕死の重傷を負った交通事故、と何度も死と隣り合わせとなる、すさんだ青年期をおくったようです（笹沢『詩人の家』）。信じて頼れるのは自分だけ、という紋次郎は、笹沢にとって生まれるべくして生まれた主人公だったのかもしれません。

なお、「赦免花は散った」はテレビドラマ化はされていませんが、コミック（小島剛夕<sup>ごうせき</sup>画 『漫画天国』連載）や映画（菅原文太主演 中島貞夫監督 昭和 47 年東映）にはなっています。また群馬県太田市には紋次郎の碑があり、テーマパークも開設されています。（木枯し紋次郎シリーズ 1 『赦免花は散った』は光文社文庫 1997 年などに収録）

（日野市古文書等歴史資料整理編集委員会委員 安藤陽子）



木枯し紋次郎記念碑（群馬県太田市藪塚町）